

令和8年度 学校経営の羅針盤

「かかわる力」を柱に、
未来へ羽ばたく
自立した学習者を育む

全国学力学習状況調査の児童質問紙を経年で見ると
「かかわる力」に伸びしろがあることが分析より見えた



牧港小学校：みんなの笑顔でつなぐ「理想の学校」

子ども：通いたい学校

毎日が楽しく、自ら進んで登校したくなる魅力的な学び舎

子ども：通いたい学校

毎日が楽しく、自ら進んで登校したくなる魅力的な学び舎

保護者：通わせたい学校

大切な子どもの成長を安心して託すことができる、信頼の場所

地域：誇れる学校

地域の宝として、住民みんなが自慢したくなるような存在

先生：働きたい学校

教育への情熱を持ち、生き生きと子どもたちに向き合える職場

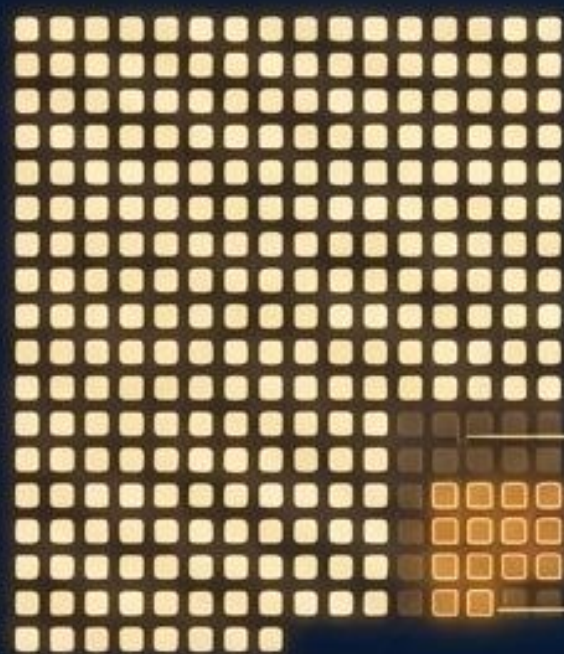
地域：誇れる学校

地域への愛着を持ち、住民みんなが自慢したくなるに向き合える存在



現在地と、私たちが埋めべき「差」

豊かな多様性



530名 /
学級数：23学級

通常学級に加え、
知的・情緒・肢体の
特別支援学級を擁する
豊かな環境。

基礎学力の課題 (R7 全国学力学習状況調査 正答率)



児童質問紙からの分析

全国学力学習状況調査 児童質問紙を経年でみると
「かかわる力」に伸びしろがある

素晴らしい多様性を持つ
方、基礎学力の定着には課題。

最終目的地：「自立した学習者」と、その最大の原動力



確かな知育・徳育・体育を
力強く回す中心のエンジン。
他者と協働する「かかわる力」こそが、
自立への扉を開く鍵となる。

教育実践の柱:「かかわる力」を構成する3つの要素

多様な集団の中で他者とかかわる力・
進んで考えや気持ちを伝え合う力

自己

多様な他者



知識及び技能

多様な個性を理解する。
自分と友達の違いや、
それぞれの良さを知る。



思考力・判断力・表現力等

相手の立場を推測して
考えをまとめ、正確に伝える。
根拠を持って分かりやすく
意見を共有する。



学びに向かう力・人間性等

自ら進んで他者と関わり、
相手を尊重する心。
協力してより良い集団を
作ろうとする態度。

全ての教科の授業、学校行事、そして振り返りの場面で継続的に実践・育成する。

かかわる力を育むためのパラダイムシフト

過去

孤立しがちな
「単独担任制」

教員からの一方向な
「Teaching」

授業と切り離された
問題対応

個人の犠牲と
長時間の残業

令和8年度

互いを支え合う
「チーム担任制」

自立を促す
「Coaching(けてぶれ学習法)」

教科指導と一体化した
生徒指導の4機能

ICT活用と業務精選による
「働き方改革」

TECHNIC 1
=「複数の目で見守るから、
子どもたちを孤独にさせない。」

TECHNIC 2
=「受け身ではなく、自分で考え、
他者に伝える力が身につく。」

TECHNIC 3
=「授業中のすべての時間が、
心のケアと他者理解の場になる。」

TECHNIC 4
=「先生の心のゆとりが、
子どもへの『笑顔』に直結する。」

エンジン①：大人が「かかわる姿」を見せるチーム担任制



「特定の先生だけでなく、複数の目で子ども達を見守り、育てる協働文化の確立」

エンジン②：「生徒指導は授業から」— かかわる力を生む45分間

一人一人の考えを認める場面

自己決定の場の提供 / 自己存在感の感受

話し合い・交流活動の場面

共感的人間関係の育成

学習規律・ルールの徹底

安心安全な風土の醸成

主体的・対話的・深い学びを生む「けてぶれ学習法」と、
琉球大学との共同研究による継続的な授業改善。

教科の知識だけでなく、授業そのものが「かかわる力」を育む最大の居場所になる。

徳育と体育：当たり前前の日常が、かかわる力の土台を作る

徳育

ありがとうの10カ条

1. あいさつをする
3. 人の話をしっかり聞く
4. 優しい言葉を使う
6. 感謝を伝える

体育

「牧っ子の一日」



望ましい部活動

健康教育の充実

てくてく登校

早寝・早起き・朝ご飯

ご家庭と学校で一緒に取り組む基本のルーティンが、子どもを強くします。

盤石な土台①：先生のエネルギーを守る「働き方改革」



業務の精選：通知表は年間2回とする



ICTの徹底活用：資料データ化、様式簡素化



休憩時間の死守



メンタルヘルスと年次休暇の推進

日常的な残業や休息不足では、児童に心から寄り添うことはできません。
先生のエネルギーを子どもたちに向けてのための改革です。

盤石な土台②：学校と子どもを守る「報連相」とコンプライアンス



「初期対応がすべて」

小さな怪我や保護者の要望でも、躊躇なく**管理職へ共有**。
一人で抱え込まず、**組織全体**で即座に対応します。

コンプライアンス

たった一つの不祥事が、学校全体の信頼を根こそぎ奪う。
24時間「教育公務員」としての自覚を持ち、信頼される学校へ。

魅力ある学校づくり：地域と家庭との強固な連携



・コミュニティスクール(CS)の推進

・月1回の「5者会議」による連携強化

直接来校しなくても子どもの様子がわかるよう、積極的な情報発信を行います。これかれが誤解を防ぎ、協力体制を強化します。

令和8年度 学校経営の全体設計図

自立した学習者

方針5: 魅力ある学校づくり
(地域との連携・CS推進)

方針1: チーム担任制の推進
(協働文化の確立)

すべての構造は、子どもの「かかわる力」を
最大限に引き出すために。
教師の心身のゆとり(土台)がなければ、
質の高い授業(エンジン)は動かない。

方針3: 日常的な授業改善
(けテぶれ・基礎基本の定着)

働き方改革 ↔ 報連相の徹底 ↔ コンプライアンス遵守



令和8年、新たな航海へ

これらはすべて、牧港小学校の子どもたちと、先生方自身の笑顔を守るための設計図です。
私たちは「子ども中心」の教育課程を実践し、未来へ羽ばたく自立した学習者を育成します。
(一人ひとりの児童の『人権と尊厳』を守り抜く絶対的基盤の上で。)

校訓：強く 明るく 新しく —— チーム牧港として、共に出航しましょう。